

特集《弁理士知財キャラバン》

「弁理士知財キャラバン 履修支援員となるための研修」を受講して



会員 渡邊 泰帥

要 約

5日間に渡る「弁理士知財キャラバン 履修支援員となるための研修」を受講した。知財コンサルティングに必要な知識やスキルを5日間という限られた期間にコンパクトにまとめたよく練られた研修であった。多くの気づきや有益な知見を得ることができたことは特筆すべきである。研修の成果が「弁理士知財キャラバン」の成功につながっていくことを期待したい。

目次

- 1. はじめに
- 2. 各パートの感想
 - (1) <基礎編>：座学研修（第1回～第3回）
 - (2) <実践編>：模擬コンサルティング研修（第4回，第5回）
- 3. まとめ

1. はじめに

7月から9月にかけて都合5日間「弁理士知財キャラバン 履修支援員となるための研修」を受講した。受講された先生方からは新たに始まる「弁理士知財キャラバン」への期待や履修支援員を目指す意気込みが感じられ、一方、講師の先生方からは研修を通じて「弁理士知財キャラバン」を成功に導きたいといった熱意を感じとれた。「弁理士知財キャラバン」というひとつの目標に講師と受講者が真摯に向き合った5日間は、私にとって、多くの気づきや有益な知見を得ることができた有意義な研修となった。

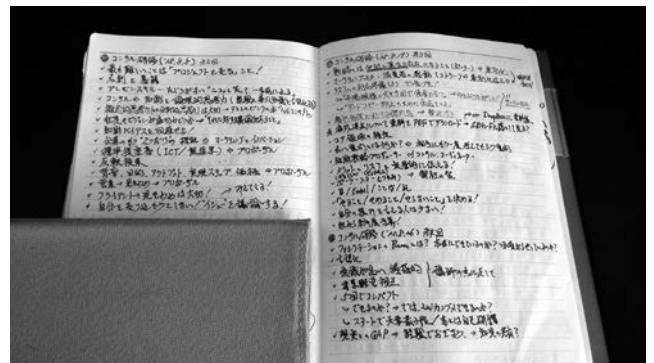
2. 各パートの感想

(1) <基礎編>：座学研修（第1回～第3回）

研修の前半、第1回から第3回は、知財コンサルティングに必要な知識をインプットするための知識研修であった。現実的には3日間で必要な知識を枝葉まですべて学ぶことは困難であると思われるが、本研修では検討に検討を重ねて取捨選択のうえ核となる重要ポイントを抽出してカリキュラムを構築されていると感じた。骨子が明確で筋が通っていた。具体的には、例えば、第2回では「経営戦略－事業戦略－技術戦略」

と縦に筋を通し、第3回では「知財ミックス、海外進出対策、オープン・クローズ戦略」と知財の視点から横に展開されていて、縦横に多面的に理解が深まると感じた。今後、知財コンサルティングの実践において経験を整理し、さらに学んでいくための軸として活かせていけると思う。

また、講師の方々の話の端々から、単なる知識に留まらない多くの気づきや有益な知見を得ることができた。写真は、研修受講の際に私が得た気づきをメモしたものである。見返してみると、「最も難しいことは『プロジェクトを売る』こと」、「知財バイアスを回避せよ」、「売り込もうとするな！イシューを議論せよ！」などと書かれている。テクニックだけでなく講師のコンサルタントとしての豊富な経験に裏打ちされた知見を得ることができたことは、最大の収穫であった。これだけでも受講の価値は十分に見いだせる。



(2) <実践編>：模擬コンサルティング研修（第4回，第5回）

研修の後半、第4回，第5回は、グループワークに

よる模擬コンサルティングであった。グループワークの良さは、他の参加者の自分とは違った視点に気づくことができる点にあると思う。コンサルティングという必ずしも正解があるわけではない仕事に取り組むための研修として効果的であると感じた。同じグループの一人一人の考え方や視点の違い、また、同じテーマであるにも関わらず異なった提案をまとめ上げる各グループのアプローチや提案スタイルの違いなどからも気づきを得ることが多かった。

モデル事例は、とてもよく練られていて、今回の研修を設計されたコンサル委員会の先生方の経験や知見が盛り込まれた内容であったと思う。「弁理士知財キャラバン」の成功のために経験や知見を惜しげもなく研修として提供された先生方に感謝したい。

3. まとめ

「弁理士知財キャラバン 履修支援員となるための研修の案内」には、本研修の目的として「弁理士知財キャラバン活動を担う知財コンサルティングスキルを持った弁理士を多数育成し、支援能力を強化すること

を目的とします」とある。果たして5日間の研修で知財コンサルティングスキルが身につくのか?といった声を耳にすることも事実である。本研修は目的を達したのだろうか。

私は、目的にかなった研修であったと感じた。繰り返しになるが本研修では、多くの気づきや有益な知見を得ることができた。これらは知財コンサルティングに取り組んでいくうえでの指標となり、これからも学んでいくための指針となるであろう。実践でのトライアル・アンド・エラーでは自分の中での軸となるはずだ。

私を含む多くの弁理士にとって知財コンサルティングは未知の大海である。大海原に乗り出すにあたって必要な知識やスキルを5日間という限られた期間にコンパクトまとめたよく練られた研修であったと思う。

この研修で得た気づきや知見が活かされて「弁理士知財キャラバン」でいくつもの成功モデルに繋がっていくことを期待したい。

(原稿受領 2015. 10. 9)

書籍紹介



判 型：A5 判
ページ数：392 ページ
定 価：¥3,300 円+税
ISBN：978-4-8178-4247-3
発売日：2015 年 8 月

プロダクトデザイン保護法—商品・空間・情報を対象としたデザインの法的保護 富宅 恵 著 (日本加除出版株式会社)

一言に「プロダクトデザイン」といっても、その中には、消費者に提供される「商品」のデザイン、消費者が訪れる店舗や施設の内部・外部の外観に関する「空間」のデザイン、さらには、例えば、タイプフェイスやグラフィックユーザーインターフェイスなど消費者に向けて発信される「情報」のデザインが含まれる。

また、これらプロダクトデザインの対象は、時代の変化に伴う消費者の要求とともに変化・拡大されていくものである。そのため、プロダクトデザインはその法的保護に関する既存の法律から先行する性質を持つ。

本書は、そのようなプロダクトデザインの法的保護に関し、時代の移り変わりとともにどのようなアプローチが検討されてきたかを数多くの判例を参照しながら解説している。特に、「商品デザイン」、「空間デザイン」及び「情報デザイン」について、意匠法、商標法、著作権法、不正競争防止法及び民法のそれぞれの観点から、その法的保護の可能性及びアプローチ方法について詳しく解説している。

本書は、既存の種類のデザインだけでなく、今後新しく見出されるであろう種類のデザインの法的保護を検討する上でも大変に役に立つ、良書といえるであろう。

(会誌編集部 川内 英主)